第11講　原始・古代（大和時代まで）

Step 1

1　次の問いに答えなさい。

⑴　象形文字・太陽暦などの使用開始で有名な，アフリカ大陸の古代文明とは何か。

⑵　イスラーム〔イスラーム教〕の創始者で，最大・最後の預言者とされる人物は誰か。

⑶　紀元前221年，春秋・戦国時代を終わらせた秦の皇帝は何とよばれるか。

⑷　戦後，相沢忠洋により初めて発見された旧石器時代遺跡の岩宿遺跡は，何県にある遺跡か。

⑸　青森県で発見された，縄文時代の巨大集落（500人規模）の遺跡を何というか。

⑹　次の文章の正誤を判断し，○×で答えよ。

「青銅器・鉄器が同時に伝来し，打製石器や磨製石器と併用されたので，弥生時代は鉄器時代もしくは金石併用時代であるといえる。」

⑺　4世紀末以降，日本と交戦し勝利したとされる朝鮮半島北部の国家を何というか。

⑻　645年，中大兄皇子や中臣鎌足に滅ぼされた有力豪族とは何氏か。

⑼　弥生土器を引き継いだ土師器に対し，新たに朝鮮半島から伝わった，のぼり窯で焼く灰色の硬い土器を何というか。

⑽　次の文章中の空所を埋めよ。

「一に曰く，（　　　）をもって貴しとなし，さからうことなきを宗とせよ。」

⑾　663年，日本・旧百済連合軍が唐・新羅連合軍に敗れた戦いを何というか。

⑿　壬申の乱（672年）で甥の大友皇子を破り，即位した人物とは誰か。また，即位後の天皇名を答えよ。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

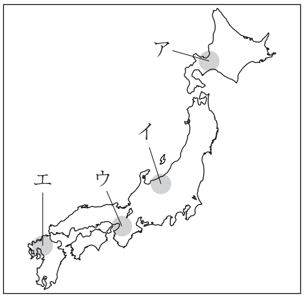
Step　2

2　次の各問いに答えよ。

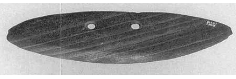
①　縄文時代の末ごろ，わが国に稲作が伝えられたとされる地域はどこか。略地図中の●で示したア～エの地域から１つ選び，その記号を書け。

②　資料は，弥生時代を中心として使われた石包丁である。これは，稲作におけるどのような作業で使われたと考えられているか。簡潔に書け。

［略地図］



［資料］



③　弥生時代の人々の生活について述べた文として適切でないものを，次のア～エから１つ選び，その記号を書け。

ア　青銅器を，豊作を祈る祭りの道具などとして用いた。

イ　かざりの少ない土器を，米の保存や煮炊きなどに用いた。

ウ　律令に基づき，稲の収穫量の約３％を税として国に納めた。

エ　たて穴住居に住み，その近くに高床倉庫を設けて稲を保管した。

【奈良県】

3　るみさんは，時代区分ごとに興味をもった建築物を取り上げ，社会や文化の移り変わりについてまとめを書いた。1・2の問いに答えなさい。

［るみさんのまとめ］

原始・古代　弥生時代の物見やぐら（復元）

佐賀県の［　　］からは，弥生時代のむらの遺跡が発掘された。写真の物見やぐらは，銅鐸などにえがかれた建物などを参考に復元された。

稲作がさかんになると，社会のしくみは急速に変わり，小さな国々ができた。倭（日本）における，小国の成立や大和政権の支配の広がりは，中国の歴史書に記されている。

1　［　　］にあてはまることばを，ア～エから一つ選び，符号で書きなさい。

ア　三内丸山遺跡　　イ　石見銀山遺跡

ウ　岩宿遺跡　　エ　吉野ヶ里遺跡

2　下線について，次のア～ウのことがらを，年代の古い順に並べ，符号で書きなさい。

ア　倭王武は，南朝の宋の皇帝に使いを送り，朝鮮半島南部の軍事的指揮権を求めた。

イ　倭には100余りの国があり，なかには楽浪郡を通じて漢に使いを送る国もあった。

ウ　邪馬台国の卑弥呼は，魏の皇帝から「親魏倭王」の称号と金印を授けられた。

【岐阜県】

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

Step 3

4 縄文時代の社会について述べた文として最も適当なものを，次のⅰ群(ア)～(エ)から１つ選べ。また，縄文時代に日本で用いられていたものを，後のⅱ群(カ)～(ケ)から１つ選べ。

ⅰ群 (ア) 王や豪族を葬（ほうむ）るために，大きな前方後円墳がつくられた。

(イ) 稲作が東日本まで広まり，収穫した米は高床倉庫にたくわえられた。

(ウ) 洞くつや岩かげに住みながら，獲物を求めて移動をくり返す生活をしていた。

(エ) おもに木の実などの採集や狩りによって食料を確保し，たて穴住居での生活を始めた。

ⅱ群 (カ) 木簡　(キ) 銅鏡　(ク) 土偶　(ケ) はにわ

【京都府】

5 資料は，聖徳太子によって定められた法の一部である。この法は何とよばれるか。その名称を書きなさい。また，この法によって示されたこととして適切でないものを，次のア～エの中から１つ選び，記号で答えなさい。

ア 役人としての心構え

イ 学問と武道に励むこと

ウ 仏教をうやまうこと

エ 天皇の命令に従うこと

資料

> 一に曰（いわ）く，和をもって貴しとなし，さからう（争う）ことなきを宗（むね）と（第一に）せよ。
> 二に曰く，あつく三宝を敬え。三宝とは仏・法（仏教の教え）・僧なり。
> 三に曰く，詔（みことのり）（天皇の命令）をうけたまわりては必ずつつしめ。

【静岡県】

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

〈 ***Note*** 〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

第11講　原始・古代（大和時代まで）

Step 1

1 ⑴ エジプト文明　⑵ ムハンマド〔マホメット〕　⑶ 始皇帝　⑷ 群馬県　⑸ 三内丸山遺跡
⑹ ○　⑺ 高句麗　⑻ 蘇我氏　⑼ 須恵器　⑽ 和　⑾ 白村江の戦い
⑿ 大海人皇子，天武天皇

Step 2

2 ① エ　② 稲の穂先をつみ取る作業。(同意可)　③ ウ

3 1. エ　2. イ→ウ→ア

Step 3

4 （ⅰ群）(エ)　（ⅱ群）(ク)

5 （名称）十七条の憲法(または，憲法十七条)　（記号）イ

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。